

Vol.10  
平成26年2月発行

# 肝属中部 畑かんだより



【編集事務局】  
肝属中部地域  
畑地かんがい営農推進本部  
(県大隅地域振興局農政普及課内)  
〒893-0011  
鹿屋市打馬2丁目16-6  
TEL: 0994-52-2138  
FAX: 0994-52-2147

(肝属中部畑かん推進キャッチフレーズ)

## 『台地に畑かん・潤う農業』

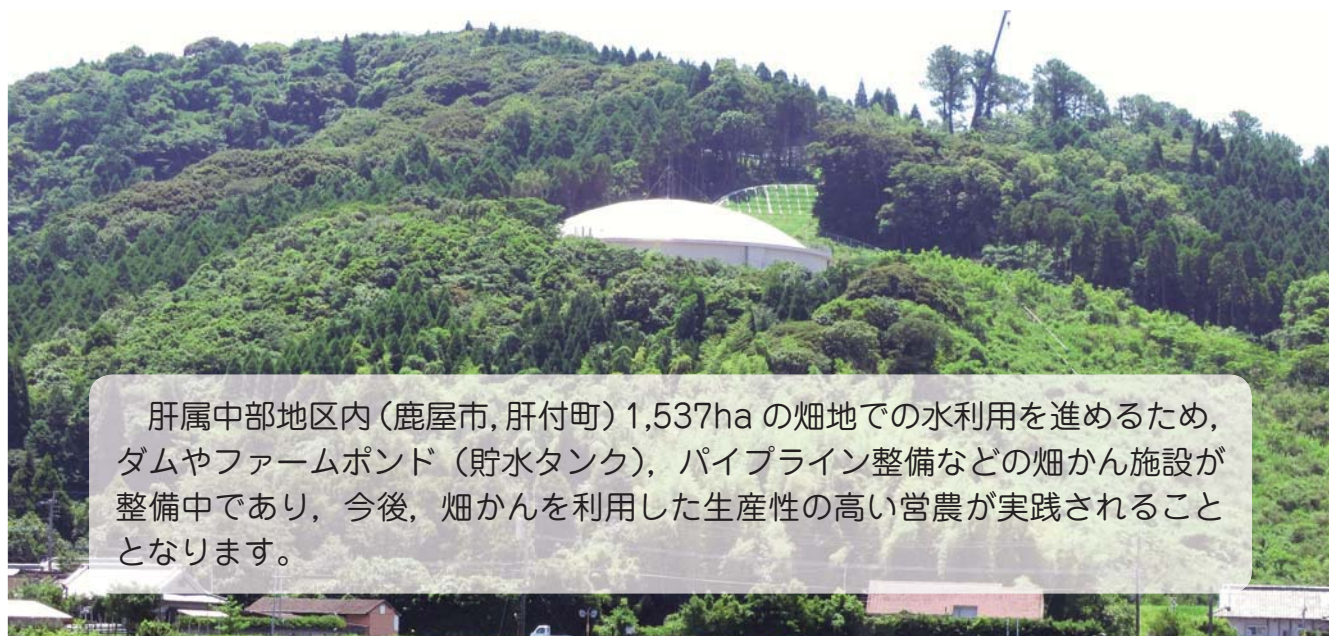


荒瀬ダム(国営事業)の工事進捗状況(平成25年11月現在)

- 肝属中部地域における畑かん営農推進について ..... 2
- 各市町における畑かん営農推進活動について ..... 4
  - 肝属中部地区畑地かんがい鹿屋市営農推進部会(鹿屋市) ..... 4
  - 肝属中部畑かん吾平地区営農推進部会(鹿屋市吾平町) ..... 5
  - 肝付町畑かん営農部会(肝付町) ..... 6
- 県営畑地かんがい事業へのご理解・ご協力をお願い ..... 7



## 肝属中部地域における畑かん営農推進について



肝属中部地区内（鹿屋市，肝付町）1,537ha の畑地での水利用を進めるため、ダムやファームポンド（貯水タンク）、パイプライン整備などの畑かん施設が整備中であり、今後、畑かんを利用した生産性の高い営農が実践されることとなります。

### ～ 畑かんで変わる肝属中部地域の農業の姿 ～

#### 担い手の経営安定

畑かんを利用して大規模経営体による、さつまいもや飼料作物の後作等を活用した露地野菜の作付拡大、契約販売で安定した経営が展開されています。



#### 農地の有効利用促進

人・農地プランや地域の話し合い活動を通じて、地域を支える担い手への農地の有効活用が進み、畑かんを活用した営農が展開されています。



#### 高付加価値農業の推進

施設園芸団地の整備が進み、畑かんを利用した生産性の高い集約的な営農が、新規就農者等を主体に取り組みられています。



#### 水利用品目の面積拡大

大隅加工技術拠点施設（仮称）ややさい加工センターと連携した産地の育成が図られ、畑かんを活用した営農が展開されています。



## ～ 肝属中部地域における畑かん営農確立に向けた取り組み ～

肝属中部地域における畑かん営農確立に向けて、以下に示した方向性に基づき、受益農家をはじめとして、関係機関・団体が一体となり取り組んでいくこととしています。

### 畑かん営農への理解促進

水利用品目の実証や散水器具実演会などによる水利用効果の理解促進や広報活動

#### 畑かんに対する理解促進

- ・ 事業の進捗状況など情報提供
- ・ 散水方法の紹介及び実演 など

#### 水利用効果の周知・普及促進

- ・ 水利用効果の周知・普及
- ・ 水利用の実証及び展示ほ など



(かん水チューブによるかん水)

### 畑かん営農を担う担い手の育成

水を利用して規模拡大志向のある担い手へ支援による畑かん営農を担う経営体の育成と、地域における話し合い活動を通じた地域農業の中心となる担い手への農地集積の支援

#### 認定農業者等への経営発展に向けた取り組みに対する支援

- ・ 水利用技術の導入、新規作型の導入
- ・ 大規模法人の育成 など

#### 共同活動等を通じた地域農業の取り組みに対する支援

- ・ 人・農地プランの中心経営体への集積
- ・ 地域内の話し合い活動促進 など



(レインガンによるかん水)

### 畑かんを活用した多様な産地の育成

水を利用した付加価値の高い品目の導入を進め産地化を図るとともに、契約取引の拡大や一次加工の推進

#### 水利用品目の推進

- ・ 水利用促進方策と連携した品目拡大方策の検討
- ・ 大隅加工技術拠点施設(仮称)を活用した産地の育成

#### 流通体系に応じた取り組みに対する支援

- ・ 実需者ニーズに対応した流通支援
- ・ やさい加工センターと連携した産地の育成



(自走式散水器具によるかん水)

【紹介】 鹿児島県大隅地域振興局農林水産部農政普及課 TEL 0994-52-2138

「台地に畑かん・潤う農業」



# 各市町における畑かん営農推進活動について

## 肝属中部地区畑地かんがい鹿屋市営農推進部会

### ◆畑地かんがい実証ほの取り組み成果

#### 【実証課題名】

畑かん散水がさつまいもの収量に与える影響

#### 【実証のねらい】

青果用さつまいも「べにはるか」での定植後及び生育途中のかん水による収量への影響を調査した。

#### 【実証状況】

定植時期の違いによる収量への影響を調べるため、定植時期を分けた2つの実証区を設け調査等を実施。

また、かん水効果確認のために各実証区に無かん水区画を設置



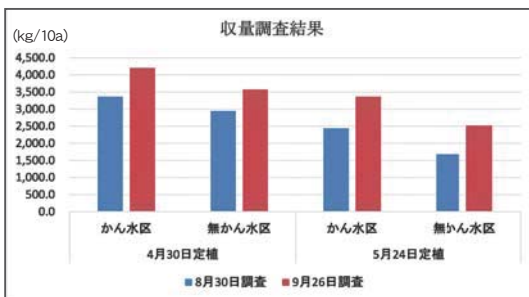
(スプリンクラーによるかん水)

	定植時期	かん水時期	かん水量
実証区 1	4 月 30 日	5月24日, 7月31日, 8月12日(3回実施)	40mm / 10a
実証区 2	5 月 24 日		

#### 【実証成果】

8 月 30 日と 9 月 26 日の計 2 回収量調査を実施。

実証区 1, 2 とともに、かん水区の方が収量向上が確認できた。



(左：かん水区 右：無かん水区)

#### 【考察】

さつまいもは基本的に乾燥に強い作物ですが、極端な乾燥は収量、品質に大きな影響を及ぼします。

- (1) 生育前期の乾燥と生育後期の湿潤は、収量、品質に悪影響を及ぼします。
- (2) 生育前期の湿潤と生育後期の乾燥は、品質に良い影響をあたえます。

### ◆自走式散水器具による作業体験を実施

下堀地区畑かんモデル団地組合員の畑かん利用促進を目的に、メーカー及び関係機関の協力のもと、組合員自身による自走式散水器具（ロールカー）のかん水作業体験を実施しました。

組合員は、自走式散水器具取扱方法を体験することでその効果を確認でき、事業による器具の早期導入希望する声がありました。(自走式散水器具によるかん水作業)



【紹介】鹿屋市農林商工部農政水産課 TEL 0994-31-1117

「台地に畑かん・潤う農業」

肝属中部畑かん吾平地区営農推進部会

◆畑地かんがい実証ほの取り組み成果

【実証課題名】

秋サラダごぼうの水利用実証

【実証のねらい】

7月から8月の高温期における水利用効果の確認

【実証状況】

- ・ かん水期間 7月19日(播種日)～8月19日
- ・ かん水時間 午後3時～午後6時
- ・ かん水量 15㎡／10a(期間中にかん水を17回実施)
- ・ 発芽率 7月30日調査(播種後11日目)



(スプリンクラーによるかん水)

	かん水有り	かん水無し
発芽率	95.6%	24.6%

- ・ 生育状況 8月29日(播種後41日目)撮影

かん水区



かん水無し区



【考察】

播種 10 日前から降雨がなく、かん水期間 (7/19 ~ 8/19) の降雨は 67.5mm (アメダス肝付前田) と干ばつ状態で、気温・地温共に高い日が続いたが、日々のかん水により発芽は促進され、また気温・地温の上昇を抑える効果が得られた。

このことから高温期における秋サラダごぼうの栽培においては、かん水の効果は極めて高く、発芽や生育を促すためには、かん水が必要であることが実証された。

◆吾平町農業祭において「畑かん」をPR

11月10日、吾平振興会館において吾平町農業祭が開催されました。当日は畑かんの展示ブースを設け、各種パネル展示や、ロールカーやレインガンなどの散水器具を展示し、普及促進を図りました。



【紹介】 鹿屋市吾平総合支所産業建設課 TEL 0994-58-7257

「台地に畑かん・潤う農業」



## 肝付町畑かん営農部会

## ◆畑地かんがいを活用した経営体への期待

肝付町においては、H28 年度に畑地かんがいの一部通水が始まり H38 年度までには 522ha の通水が計画されています。今後、畑地かんがいを活用して規模拡大を希望する経営体や農業生産法人による、さつまいも及び後作としてにんじんやごぼう等の根菜類や、市場ニーズの高い豆類、地域特産である施設果樹への取り組みが期待されています。

## ◆畑地かんがい実証ほの取り組み

肝付町では、通水開始後の水利用促進のため「畑地かんがい実証ほ」を設置しましたので、その取り組み事例を紹介します。

## &lt;事例 1&gt; さつまいも栽培において計画的作付を可能にするロールカー活用



## 【目的】

さつまいも栽培における自走式散水器具（ロールカー）の効果確認

## 【実証農家の声】

かん水により計画的な作付が可能となり、作業や労務の管理がしやすくなった。

## &lt;事例 2&gt; えだまめとにがうりの複合栽培



## 【目的】

えだまめとにがうり輪作体系での水利用効果確認

## 【実証農家の声】

かん水により生育が順調になるとともに、えだまめ収穫後ににがうりの蔓が伸びるため栽培管理に影響はなく、有効な組み合わせと感じた。

## &lt;事例 3&gt; 加温不知火の水利用栽培



## 【目的】

効率的な水利用を前提とした加温不知火の増収・品質向上の効果確認

## 【実証農家の声】

計画的な水利用により良質な果実生産が可能になった。

今後も、水を利用した品目の導入・拡大による所得向上を図るため、実証ほを通じた水利用技術の確立・普及に努めていきます。

【紹介】肝付町農業振興課 TEL 0994-65-8417

「台地に畑かん・潤う農業」

# 県営畑地かんがい事業へのご理解・ご協力のお願い ～肝属地域農業の飛躍に向けて～

県営事業で行う農業用管水路の埋設工事は、平成 24 年度から鹿屋市下堀，田淵，横山で始まり，約 190ha 分の工事が完了しました。平成 26 年度は鹿屋市吾平町上名や肝付町後田で管水路埋設工事を予定しています。皆様のご理解，ご協力をお願いします。

肝属中部地区の通水計画については，通水計画図（次ページ）をご覧ください。

## ※ 農業用配水管工事の流れ

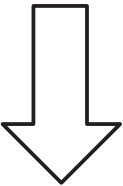


事業が採択になると，まず 1 年目は主に工事の測量設計を行います。

その後，工事説明会を開催し，工事の内容や工事期間，立会のお願い等について説明を行います。



まずは説明会に参加して疑問や心配事を訪ねてみましょう！



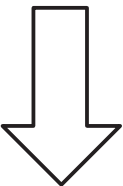
将来，水を使こかもしれんで，給水栓をつけちよこかいね。



2 年目以降になるといよいよ工事が始まります。地権者の方には将来設置する給水栓（取水蛇口）の設置予定位置をご確認いただいたうえで行います。（写真は位置確認立会状況。）



管水路～給水栓設置までの工事費においては，みなさんの負担はありません。



使こやすい所に設置しもろた。



管水路埋設工事期間中は，通行止め等の交通規制が行われます。ご不便をおかけしますが，ご理解，ご協力をお願いします。

農業用水管の工事と併せて周辺の農道や排水路もいっしょに整備するのでみんな便利になりますよ！



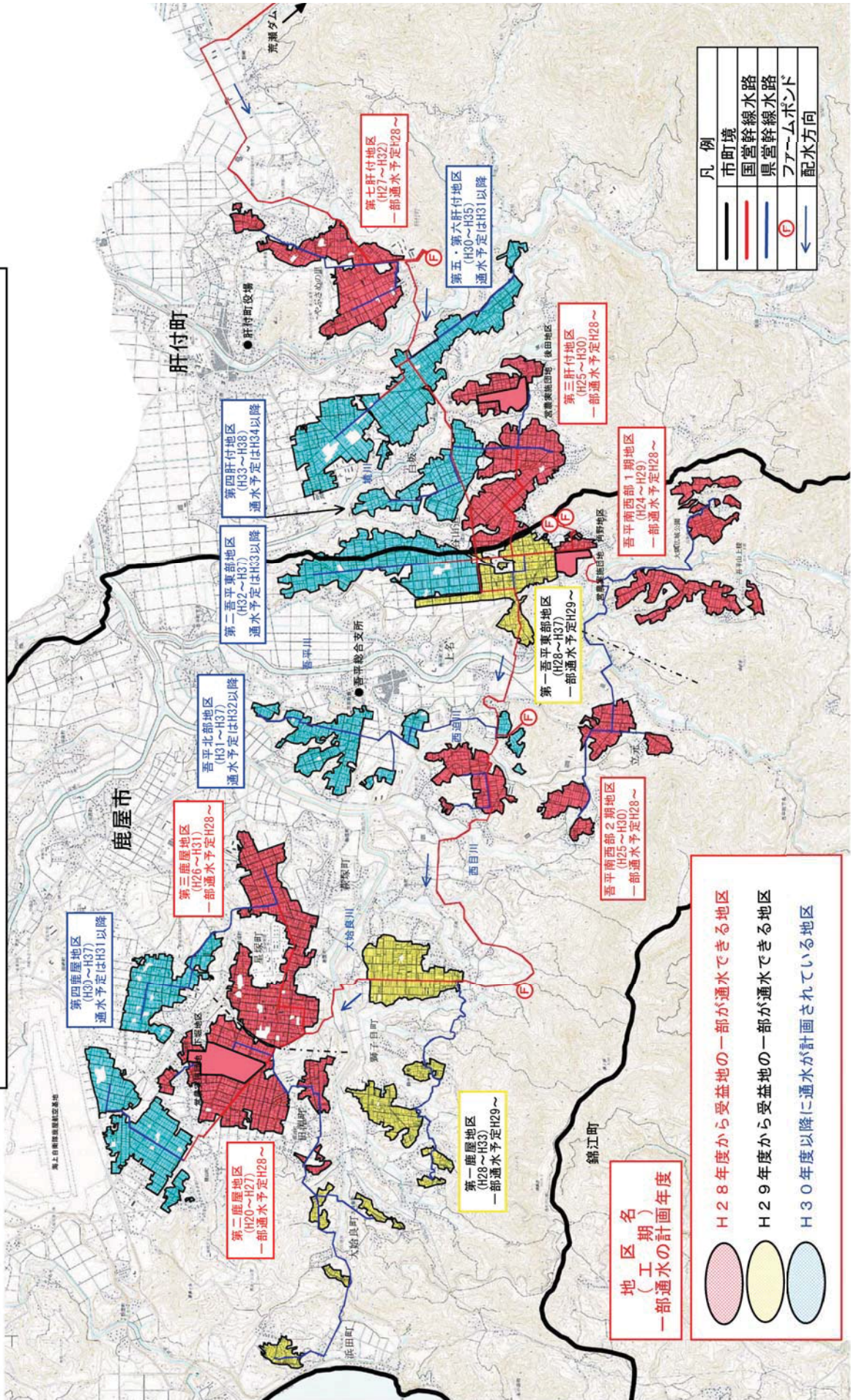
ご協力お願いいたします

【紹介】 鹿児島県大隅地域振興局農林水産部農村整備課 TEL 0994-52-2153

「台地に畑かん・潤う農業」



国営肝属中部地区 附帯県営事業(畑地かんがい) 通水計画図



「台地に畑かん・瀬う農業」